

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	市民・企業・大学等交流事業		
事業担当	企画部 企画課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'01	1 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： 市民団体等】		
目的・目標		事業の概要	
市民、企業、大学などが相互に発展し、心豊かな地域社会となるよう、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われています。		市民、企業、大学などの交流を促進するため、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光などの各分野における交流事業の充実を図ります。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業数				単位	事業
	説明・算定式	平塚市民・大学交流委員会による交流事業数					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	8	9	9	11		
	実績	9	9	9			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交流事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	8450	8450	8450	8450		
	実績	7704	4721	5645			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
平塚市民・大学交流委員会の文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の5つの推進部会により9事業を実施し、一部イベントが天候不良等により中止となったものの相互の交流が活発に行われました。また、次年度からの事業である小中学生を対象にした「子ども大学」の実施に向けた調整を行いました。							
平成23年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と大学との交流事業を実施するに当たり、平塚市民・大学交流委員会の組織は必要なものであり、その中で本市が調整することによって、協働による事業が実施されています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業計画・実施においては、平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会により、協議、実施しており、市民ニーズを取り込んだ満足度の高い事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	5つの推進部会により、9事業が実施され、参加者も多く妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民と大学との交流事業の実施に当たっては、経費節減に努めます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		天候に左右される事業があり、参加者数に影響しています。より多くの市民が参加できるよう、事業内容の見直しや各部会間の調整が必要です。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業、神大との交流20周年記念事業	市民・大学交流委員会による交流事業等	市民・大学交流委員会による交流事業等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,705	2,365	1,750	2,063
事業費 (A)		1,705	2,365	1,750	2,063
執行率 (%)		79.75	80.50	86.16	
内訳	職員 (人)	0.50	0.60	0.45	0.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		4,178	4,956	3,647	2,806
フルコスト (A+B)		5,883	7,321	5,397	4,869

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で12の事業を実施します。市民の参加を得るための工夫と、事業実施結果の評価により、事業の充実を目指します。
課長コメント	本事業は、大学、企業などとの連携による幅広い分野における市民との交流環境を創出するもので、必要性は高いと考えます。今後も市民ニーズ等を考慮した事業内容としていくことで、活発な交流を目指します。